

パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報

2018年1月1日 172号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護

迎春

2018年

(平成30年)



朝日を浴びるレダ基地の給水塔

二〇一八年新春のお慶びを申し上げます

昨年中の会員の皆様方のご支援とご協力に、心より感謝を申し上げます。本年も変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。また、厳しい環境の中にもかかわらず、レダの地に滞在され、活動して下さった皆様に、心からの感謝と慰労の意を表させていただきます。

パンタナールの大自然の中に足を踏み入れて、早や十八年の歳月が過ぎ、既に十九年目に入っています。この間、自然の猛威と向き合い、試行錯誤しながらも積み上げた様々な取り組みは、地域を超え、国を超えて多くの人々に希望の光を灯してきました。

今、国が、世界が、この見捨てられた地で働く人たちの姿に、そして創られた現状に夢と希望を見出し、心を動かされてきています。国、民族、宗教そして個人などの利害が錯綜し、混乱する世界情勢の中にあつて、自らの損得を省みることなく、変わることにない利他の精神を抱き、他の為に生きる活動は、多くの人々の心に感銘を与え、その結果、老若男女を問わず、世界各地からレダを訪ねてきてくださるようになり、パンタナール精神を学ぶようになりました。

今年はいよいよ青年夫婦の移住や家族での移住も始まり、産学協同プロジェクトの出發、南北アメリカのより緊密な連携、北部地域の開發等、より具体的な福地建設の歩みを大きく踏み出します。老壮青が共に住み、地域コミュニティと共に新しいビジョンのもとに創り上げる新しい村、福地はその精神と実態とをもって、混乱する世界に希望の光となっていくでしょう。

今年も共に前進して行きましょう。

二〇一八年元旦



一般社団法人

南北米福地開発協会

理事長 中田欣宏



ブルメリア (Plumeria キョウチクトウ科)



今、レダ基地では
Leda Ahora

ハウオウボク (Chivato, Flamboyant マメ科)



アセロラの実を採取する前川氏



テラスのタイル貼りを監督する岩澤氏



紅屋氏 (左) から業務を受け継ぐ北中氏



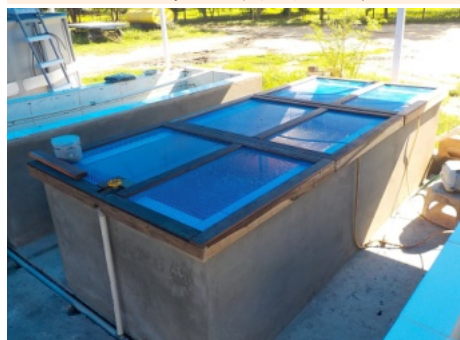
ソーセージを開発する小橋氏



パラグアイ式焼肉 (3面下段に関連写真)



アメリカレアの雛とカピバラの子供 (カピバラの家)



エビを養殖するための水槽



カシューアップルとカシューナッツ



カピバラの赤ちゃんが生まれました。

より多くのゲスト！より快適な滞在！

近年、レダ基地を訪れるゲストや研修生が急増し、宿所のやりくりがますます難しくなってきました。そこで、未完成のビルの二階を、ゲストフロアーとして、新規に九部屋の完成を目指すことになりました。各室はホテルのようにトイレ、シャワー、空調機などを備えるようにします。なお、一階は既にパスタナール研究所、水産食品関連施設、および一部スタッフの宿所、生鮮食糧庫として使われています。このビルはレダ基地のほぼ中央に位置するので、



このビルの二階部分をゲストフロアーに。

完成へのご支援を！

建築・内装工事を担当することになる水落さんは、その作品の美しさと堅牢さに定評があります。施工を外注することなく、経済的に実現できます。より良質な資材の調達に向け、皆様のご支援をお願いいたします。



一流木工職人の腕を持つ水落さん。

レダの中期青年ボランティアに尋ねました

現在レダで奉仕活動に励んでいる三名の青年のうち、木村君と梶本君の回答を先号にてお伝えしました。今回は、三宅孝好君からの回答です。



三宅君のインタビュー。

Q レダの印象は？
A 初めて訪れた時の印象は、まさしく秘境のパラダイスだと感じました。
Q 現在レダで担当していることは何ですか？

A 養豚とパソコン周りのお手伝いです。

Q レダで最も苦しいことは？ A 何を通して貢献出来るかを見つける事。蚊との戦い。

Q レダで最も嬉しいことは？ A 毎日非日常な世界に触れられて刺激的なこと。ビュッフェ方式の食事。
Q 将来への抱負は？ A 地上の理想郷の創建に向けて歩み続けます。

Q 日本の皆様に何でも一言どうぞ。 A 一度こちらで暮らしてみると、日本では当たり前だったことが、世界ではそうでないことに気付かされます。是非一度訪れて見てください、人生観が変わります。



ブタランドでのコミュニケーション。



オフィスでパソコン作業をする。

レダの年末年始

レダ基地の年末年始、それは静かで多忙な期間です。従業員たちのほとんどが、クリスマス前から帰省するので、大きな仕事はできません。土木・建築工事などの機械音や労働者の声が聞こえなくなり、レダ基地は静かになります。一方、レダ基地スタッフは、パクリの孵化・仔魚育成に加え、多種の業務をも兼務することになるので、忙しくなります。

パラグアイ川沿岸のコンセプション・バイア・ネグラ間を週一往復する貨客船アキダバンも運休します。そこで、年末年始に必要な食材は前もって注文・購入し、食糧庫や保冷庫に保管しておきます。また、この期間の調理人も確保しておきます。

クリスマスには、ドライフルーツやカラフルなゼリー片が入った、甘いパンが市中に出回ります。シュートレンのような大型の菓子パンで、ほぼ全員が甘党のレダ基地スタッフにとっては楽しみの一つです。他方、現在衛星テレビ放送を受信できないので、相変わらず俗世から隔絶されたような娯楽環境です。

酷暑にもかかわらず、都市部では赤帽赤服のサンタクロースがあちこちで見られます。人々が贈り合うクリスマスプレゼントが、ちょうど日本のお歳暮のように、商戦を活気づけます。

従業員たちが戻って来るのは、新年最初のアキダバンの到着日。二〇一八年は、おそらく第二金曜日である一月十二日になると予想されます。そしてレダ基地は、また本来の忙しさに戻ります。



従業員のため、少し早めにクリスマス祝賀の焼肉（アサード）12月10日

クリスマスおめでとう！

¡Feliz Navidad!

(フェリス ナビダッ！)

明けましておめでとう！

¡Próspero Año Nuevo!

(プロスペロ アニョ ニエボ！)

忘れ得ぬレダの犬たち



チル（オス）2004年パルとともにレダ基地にやって来た。番犬として活躍？



ジャック（オス）クロウとカナンの子。優しかったが、頭部の傷が悪化して永眠。



クロウ（左・オス）とカナン（メス）は、レダ基地最初のペア。ゲレートデン。



チキーニャ（メス）肥満体ながら敏捷で、不審者にはよく吠えた。出自不明。



2代目クロウ 外見は父親の初代クロウとそっくりだが、性格は対照的だった。



2代目クロウ（オス）おっとりとした性格。よく仰向けに昼寝していた。



チキーニャは皆から愛されたが、常に分をわきまえていた。交通事故で命終。



現在ワンワンは犬仲間がいない。遊んでやると、とても喜ぶ。



ワンワン（オス）現役の多目的犬。もしかしたらイケメン犬かも。

一般社団法人 南北米福地開発協会 事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区
溝口3-11-15
岩崎ビル4F

電話: 044-829-2821

FAX: 044-829-2820

ゆうちょ銀行（旧一般会員会費納入）
記号10280 番号61349751
一般社団法人 南北米福地開発協会

E-メール: office@asd-nsa.com

ホームページ: asd-nsa.com

会員種別

- ◆ 会員一口1000円/月
- ◆ 特別会員一口1万円/月
- ◆ 法人会員一口1万円/月

※いずれも口数は申込者が申告

会費は、毎月の引き落とし方式です。

会費振替用口座 ゆうちょ銀行

00290-5-113072

加入者名: シヤ 南北米福地開発協会

入会申し込みと同時に手続きをお願い申し上げます。それが確認でき次第、会員番号を確定し、ご案内いたします。

♥ 入会申込書は、左記の事務局にお申しつけください。ホームページからも入手できます。



ミツボシタテハ♂

お便り募集

読者の皆様からのお便りを募集します。本紙記事へのご感想や提案、支部活動のようす、関連写真、イラストなどをお待ちしています。宛て先：
office@asd-nsa.com

訂正: 先号の蝶の写真はミツボシタテハの♀でした。お詫びし、訂正いたします。♂の翅模様は精悍なデザインですね。